



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2018年10月30日

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
 コード番号 5726 URL <http://www.osaka-ti.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉崎 康昭

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 井田 義和

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	19,556	7.9	817	95.9	1,305	215.5	362	50.4
2018年3月期第2四半期	18,122	0.9	417		413		240	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	9.84	
2018年3月期第2四半期	6.54	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	88,874	36,023	40.5
2018年3月期	92,662	36,213	39.1

(参考)自己資本 2019年3月期第2四半期 36,023百万円 2018年3月期 36,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		15.00	15.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2019年3月期末の配当予想は未定です。

3. 2019年3月期の業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,600	2.7	1,800	45.8	2,100	25.3	800	56.9	21.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は[添付資料]P.6「2.四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	36,800,000 株	2018年3月期	36,800,000 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,314 株	2018年3月期	1,314 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	36,798,686 株	2018年3月期2Q	36,798,756 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や雇用の拡大が続き、緩やかな景気回復傾向にある一方、豪雨、台風、地震などの自然災害の発生や海外における貿易摩擦リスクの高まり、原材料価格の上昇が生じているなど、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当事業につきましては、チタン事業では、輸出向けについては引き続き航空機の製造が堅調、また、国内向けにつきましても一般産業用途のプレート式熱交換器、発電プラント向け等の需要が回復基調にあり、チタン事業の売上高は14,701百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

ポリシリコン事業では、前年同期において一部顧客向けの出荷時期ずれがあったことから、ポリシリコン事業の売上高は3,754百万円（前年同期比29.3%増）となりました。

高機能材料事業では、液晶パネル用途のチタン粉末（TILOP）及びチタン合金粉末の販売数量の増加はあったものの、高純度チタンの出荷時期ずれ等により、売上高は前年同期並みの1,101百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は19,556百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

利益につきましては、販売量の増加などにより、営業利益は817百万円（前年同期比95.9%増）、円安による外貨建売掛債権の為替差益を営業外収益に計上したため、経常利益は1,305百万円（前年同期比215.5%増）となりました。一方、大阪北部地震等の影響を特別損失に計上したことから、四半期純利益は362百万円（前年同期比50.4%増）となりました。

(参考)事業別売上高

(単位：百万円)

		当第2四半期累計期間	前年同期	増減率 (%)
チタン事業	国内	6,130	6,156	△0.4
	輸出	8,570	7,960	7.7
	計	14,701	14,117	4.1
ポリシリコン事業		3,754	2,902	29.3
高機能材料事業		1,101	1,102	△0.2
合計		19,556	18,122	7.9

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は、88,874百万円と前事業年度末と比べ3,787百万円減少いたしました。これは、現金及び預金が増加したものの、売掛金及び有形固定資産が減少したことが主な要因であります。

②負債

当第2四半期会計期間末の負債の残高は、52,851百万円と前事業年度末と比べ3,596百万円減少いたしました。これは、借入金及び未払金が減少したことが主な要因であります。

③純資産

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は、36,023百万円と前事業年度末と比べ190百万円減少いたしました。これは、四半期純利益により利益剰余金が増加したものの、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年7月30日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,619	6,078
受取手形及び売掛金	18,147	15,234
商品及び製品	12,925	13,037
仕掛品	4,817	4,770
原材料及び貯蔵品	5,440	4,164
その他	121	540
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	46,069	43,823
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	11,260	10,976
機械及び装置（純額）	14,983	13,692
土地	14,823	14,823
建設仮勘定	331	490
その他（純額）	576	559
有形固定資産合計	41,976	40,543
無形固定資産	429	481
投資その他の資産	4,186	4,026
固定資産合計	46,593	45,051
資産合計	92,662	88,874

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,383	4,321
短期借入金	7,700	11,200
未払金	2,188	996
未払法人税等	290	163
設備関係支払手形	81	47
設備関係未払金	353	423
賞与引当金	370	363
その他	1,320	1,315
流動負債合計	16,688	18,832
固定負債		
長期借入金	35,800	30,200
資産除去債務	1,385	1,399
退職給付引当金	1,908	1,935
その他	666	483
固定負債合計	39,759	34,018
負債合計	56,448	52,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	18,440	18,250
自己株式	△9	△9
株主資本合計	36,112	35,923
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	101	100
評価・換算差額等合計	101	100
純資産合計	36,213	36,023
負債純資産合計	92,662	88,874

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	18,122	19,556
売上原価	15,166	16,371
売上総利益	2,956	3,185
販売費及び一般管理費	2,538	2,367
営業利益	417	817
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	20
為替差益	0	427
不用品売却益	46	52
受取賃貸料	25	25
補助金収入	42	42
その他	3	4
営業外収益合計	125	573
営業外費用		
支払利息	107	82
休止固定資産減価償却費	0	0
その他	20	2
営業外費用合計	128	85
経常利益	413	1,305
特別損失		
固定資産除却損	63	57
災害による損失	—	715
特別損失合計	63	772
税引前四半期純利益	349	532
法人税等	108	170
四半期純利益	240	362

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

年間の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	14,117	2,902	1,102	18,122
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	14,117	2,902	1,102	18,122
セグメント利益又は損失(△)	1,105	△977	289	417

(注) セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

当第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	14,701	3,754	1,101	19,556
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	14,701	3,754	1,101	19,556
セグメント利益又は損失(△)	747	△180	250	817

(注) セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。